

水稻情報

(第3号)

平成 28 年 5 月 25 日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

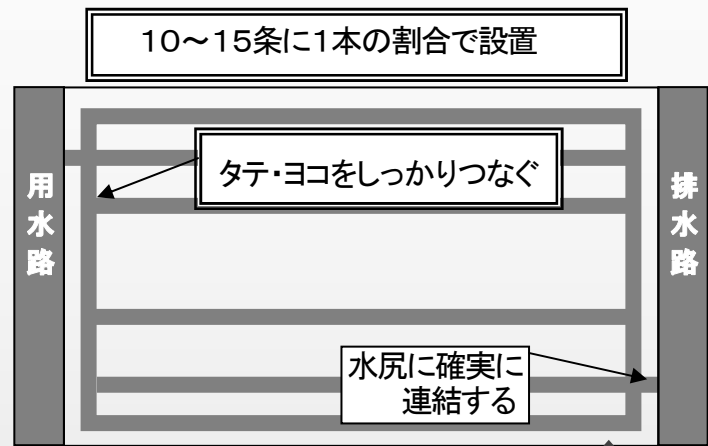
- * 溝掘りを確実に実施し、中干しの効果を高めましょう。
- * 出穂期から20日間の湛水管理に備え、中干しの徹底で田面を固めましょう。

1. 溝掘り ~早めの溝掘りで、中干しの準備を!~

中干しや、その後の間断かん水を効果的に行うため、6月上旬までに必ず溝掘りを行いましょう。

<溝掘りのポイント>

- ・軽く田干しを行い、泥を落ち着かせる。
- ・溝の間隔は、3~5m(10~15条に1本)が目安。
- ・水口 ⇄ 溝 ⇄ 水尻は確実に連結する。
- ・水の切れないほ場では、設置本数を増やす。



溝掘り

中干し

充実した茎や
根の確保!!

6月1~10日
あおば農協管内
「一斉溝掘り期間」

2. 中干し 田植えの1ヶ月後を目安に中干しを始め、確実に田面を固めましょう!

6月に入ると、急激に分げつが増加するので、田植えの1ヶ月後頃を目安に遅れず中干しを開始しましょう。また、出穂期から20日間の湛水管理に備え、確実に田面を固めましょう。

①中干し開始時期の目安

田植日	中干し開始時期
5月10日	6月10日頃
5月15日	6月14日頃
5月20日	6月18日頃
5月25日	6月20日頃

中干しの効果

- ・無効分げつの抑制
- ・土中への酸素供給と根の活力アップ
- ・地耐力の向上

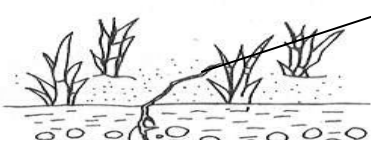


中干しの有無による根量の違い

②中干しの程度

・水はけの良いほ場

→ 長靴が沈まない程度の中干しで
期間は3~5日間程度が目安



排水の悪いほ場では、事前に軽い田干しを行いましょう!

・水はけの悪いほ場や粘土質ほ場

→ 強めの中干しとして
期間は7日間程度が目安



3. 中間追肥

倒伏を防止し登熟を高めるために、積極的に施用しましよう!

施肥体系	肥料名	施用時期の目安	施用量
分施	エスアイ加里特号	6月中旬~下旬	15kg/10a
基肥一発	PKI+い酸		20kg/10a

珪酸の効果

- ①根の活力を高める
- ②フェーン時に水分の蒸散を防ぐ
- ③茎葉を丈夫にし倒伏を防ぐ
- ④受光態勢を良くし登熟を高める

うら面に続く

4. 中期除草剤の散布

本格的な中干し前に中期除草剤の散布を！

○中期除草剤の散布

除草剤名	雑草の種類	使用時期	10a 当たり 散布量	使用上の注意点
マメット SM 1キロ粒剤	ノビエ 広葉雑草	移植後20～30日 ノビエ3. 5葉期まで	1kg	・稲の5葉期以降に湛水状態で散布 ・15℃以下または30℃以上の場合には使用しない
アクシズ MX 1キロ粒剤	ノビエ 広葉雑草	移植後7日～ ノビエ4葉期まで	1kg	・湛水状態で散布 (収穫45日前まで)
サンパンチ 1キロ粒剤	ノビエ 広葉雑草	移植後15日～ ノビエ3. 5葉期まで	1kg	・湛水状態で散布 (収穫60日前まで)

○雑草が多く残った場合

除草剤名	雑草の種類	使用時期	10a 当たり 散布量	使用上の注意点
クリンチャー 1キロ粒剤	ノビエ	移植後7日～ ノビエ4葉期まで	1kg	・湛水状態で散布 (収穫30日前まで)
		移植後25日～ ノビエ5葉期まで	1.5kg	
ヒエクリーン 豆つぶ250	ノビエ	移植後15日～ ノビエ4葉期まで	250g	・湛水状態で散布 (収穫45日前まで)
バサグラン粒剤	広葉雑草 (ホタルイ、オモダカ等)	移植後15～50日 (クログワイは15～35日)	3～4kg	・浅水～落水状態で散布し、3～4日間は入水・落水をしない(収穫60日前まで)
クリンチャーバス ME液剤	ノビエ 広葉雑草	移植後15日～ ノビエ5葉期まで	1,000ml/10a (希釈水量 70～100L)	・落水状態で散布し、3～4日間は入水・落水をしない(収穫50日前まで)
フォローアップ 1キロ粒剤	ノビエ 広葉雑草	移植後25日～ ノビエ5葉期まで	1kg	・稲の5葉期以降に使用する ・湛水状態で散布(収穫60日前まで)

※ 使用回数には制限がございますので、詳細は各地区営農経済センターへお問い合わせください。

カメムシ対策 第1回

カメムシ発生予防について

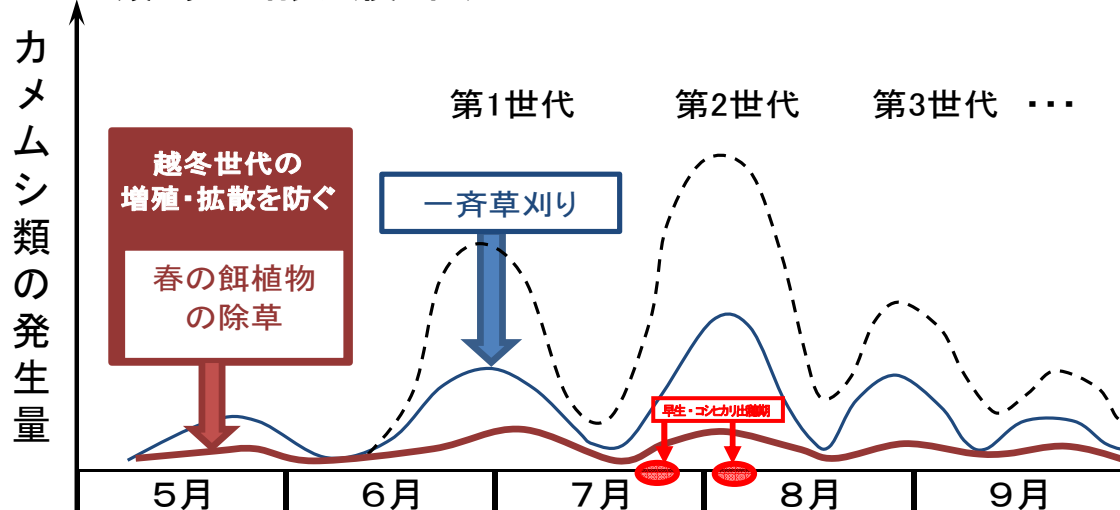
～発生・増殖源となる場所を優先して除草し、拡散を防ぐ！～

1. 春の畦畔等の除草管理でカメムシ類の発生密度を低減しよう！

- ・幼虫の餌となるイネ科雑草が穂をつけないように草刈りを行う。
- ・幼虫の餌となるスズメノカタビラやスズメノテッポウ等が生えている畦畔等にバスタ液剤、ザクサ液剤等の茎葉処理除草剤を散布する。

除草方法	除草により期待される効果等
草刈り (穂がないように)	・幼虫はイネ科雑草の葉だけでも発育できるが、穂がないと幼虫の発育遅延や羽化率が低下する。 ・穂がないため、成虫の飛来や産卵が抑えられる。
除草剤散布 (バスタ、ザクサ等)	【カメムシ類の密度低減効果が高い管理】 ・幼虫の餌となるイネ科雑草がなく、生存できない。 ・寄主植物がないため、成虫の飛来や産卵を防ぐ。 ※ 風のない時にカバーをつけて散布し、水稻にかからないよう注意すること。

2. カメムシ類の発生消長(模式図)



アキゲ ホトドリスミカ



アサジ カシカ

はじめの発生量を小さくすることで、以後の発生量を抑えられる！